

1 来札者の概要と観光動態

ここでは、来札者の基本属性を把握するとともに、主に観光客（旅行目的が『観光』及び『ビジネス兼観光』の回答者）がどのような観光動態をとっているかについて、把握・分析する。

本章のまとめ

（観光客の概要）

観光客像

観光客の男女比は6：4で女性の割合がやや高い。50才以上が6割を占め、60才以上が4割弱となっている。男性では「会社員」、女性では「専業主婦」が4割以上を占めている。

旅行意識

「とにかく、旅が好き」「ラクな旅行がしたい」と考えている人が7割程度となっている。旅行の目的・楽しみは「温泉」「美味しいものを食べる」「自然に触れて過ごす」をあげる人が多く、男性では女性に比べて目的・楽しみが多い。

50才以上では「効率よくいろいろなところを周遊する旅が好き」の回答率が減少しており、滞在型の旅行を求める傾向がうかがえる。

（旅行の概要）

旅行日数の平均値は3.2日、札幌での平均宿泊数は1.4泊（うち定山渓は平均0.1泊）

旅行日数・札幌での宿泊数は、一人で訪れた旅行者で多くなっており、特に札幌での宿泊数はその他（同行者を伴う旅行者）の平均宿泊数に比べ1泊近くの差がある。

旅行会社を利用している人では、利用していない人よりも旅行日数・札幌での平均宿泊数がともに少なく、特に団体型パック旅行者では札幌での平均宿泊数が1.1泊と少ない。

1～2人の少人数旅行が中心、同行者は「夫婦」「友人」が多い

過半数が1人又は2人の少人数旅行となっている。「夫婦」「友人」と訪れる人が多く、年代が高いほど「夫婦」と訪れる人の割合が高くなっている。

旅行会社は約8割が利用、フリー型より団体型パックの利用率が高い

全体の約8割が旅行会社を利用している。そのうち、団体型パック利用者の割合は4割強、特に60才以上で利用率が高い。夫婦や友人との旅行では過半数が団体型パックを利用しているほか、居住地別では大阪圏で7割と利用率が高くなっている。フリー型パックは30・40才代の女性に多く利用されているほか、家族や友人との旅行でも利用率が高くなっている。

団体型パック利用者では、札幌を起点として道北・道東をまわる人も多い

全体では 2 割以上の方が層雲峡を訪れており、1 割以上の方は網走や阿寒、摩周湖・川湯まで足を延ばしているが、その大半が団体型パック利用者となっている。また、登別や定山溪温泉といった温泉地へ足を延ばす人も、全体で 1 割以上となっている。

団体型パック利用者は貸切バスでの移動が大半

団体型パック利用者では、9 割以上が貸切バスを利用しており、他の交通機関の利用率はいずれも低い。逆に、フリー型パック利用者・旅行会社を利用していない人では、タクシーのほか公共交通機関の利用率も高く、JR は 8 割以上、地下鉄は 6 割以上の方が利用している。

現地での消費総額は平均 4.4 万円、旅行会社の利用形態により金額に差がある

フリー型パック利用 > 旅行会社未利用 > 団体型パック利用の順に現地での消費総額が少なく、フリー型パック利用者と団体型パック利用者では 1 万円以上の差がある。フリー型パックでは飲食費が、旅行会社未利用では交通費が、全体に比べ高くなっている。

1-1 回答者の概要

1) 旅行目的

旅行の主目的は、「観光」が最も多く 76.4%、次いで「ビジネスのみ (13.6%)」、「ビジネス兼観光 (4.8%)」となっている。

性別・年代別にみると、女性では「観光」目的が 93.1%と大半で、「ビジネスのみ」「ビジネス兼観光」と回答した人はほとんどいない。男性では、30 才以上では年齢が高くなるほど「観光」目的の人の割合が増える傾向がみられた。

また、「ビジネスのみ」で訪れる人は 60 才未満の男性の割合が、「ビジネス兼観光」で訪れる人は 30～50 才代の男性の割合が、全体平均より 5%以上高くなっている。

居住地別にみると、大阪圏では「観光」が、首都圏では「ビジネスのみ」の割合が高く、地域間の差が 5%以上となっている。

「その他」の記入内容としては、「帰省や親類宅の訪問」、「スキー・スノーボード」、「法要」などがあつた。

		調査数	観光	ビジネス		その他	無回答	
				ビジネスのみ	ビジネス兼観光			
全体		811	76.4	18.4	13.6	4.8	4.7	0.5
性・年代	男性平均	392	59.4	35.5	26.3	9.2	4.6	0.5
	男性 18～29才	30	56.7	30.0	30.0	0.0	13.3	0.0
	30～39才	65	33.8	61.6	46.2	15.4	4.6	0.0
	40～49才	64	39.1	60.9	48.4	12.5	0.0	0.0
	50～59才	100	57.0	38.0	24.0	14.0	4.0	1.0
	60才以上	133	84.2	9.8	6.8	3.0	5.3	0.8
	女性平均	390	93.1	1.5	1.3	0.3	4.9	0.5
	女性 18～29才	45	93.3	2.2	2.2	0.0	4.4	0.0
	30～39才	56	83.9	3.6	1.8	1.8	10.7	1.8
	40～49才	38	92.1	2.6	2.6	0.0	5.3	0.0
	50～59才	117	94.9	0.0	0.0	0.0	4.3	0.9
	60才以上	134	95.5	1.5	1.5	0.0	3.0	0.0
居住地	首都圏	527	72.7	21.6	15.9	5.7	5.3	0.4
	大阪圏	284	83.5	12.3	9.2	3.2	3.5	0.7

問1 旅行の主目的(×性・年代別、居住地別)

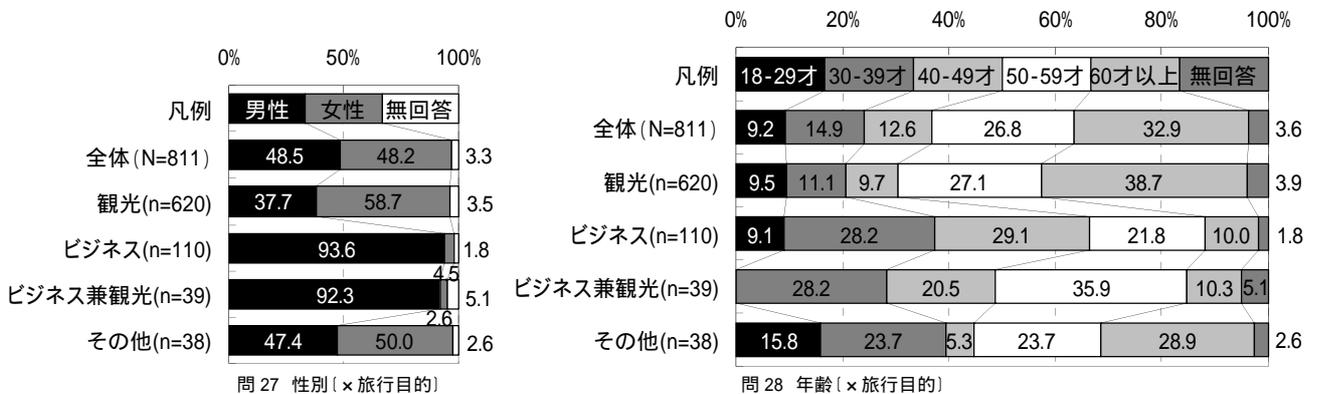
2) 基本属性

性別・年齢

(全体)

全体では男性の割合が高く、特に『ビジネス』及び『ビジネス兼観光』での来訪者では、9割以上が男性となっている。

年代は「60才以上」が32.9%で最も多く、次いで「50-59才」が26.8%となっている。観光目的で訪れた人では4割近くが60才以上となっており、年齢層が高いことがうかがえる。逆に、ビジネス目的で訪れた人では、30~50才代が8割近くを占め、60才以上は1割にとどまっている。ビジネス兼観光客で訪れた人も、ビジネスで訪れた人と同様、30~50才代が8割以上と多く、特に50才代の割合が高くなっている。

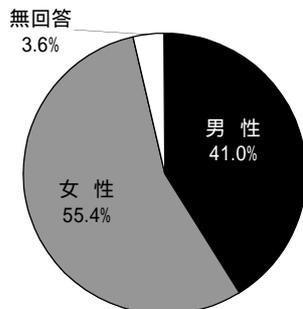


(観光客)

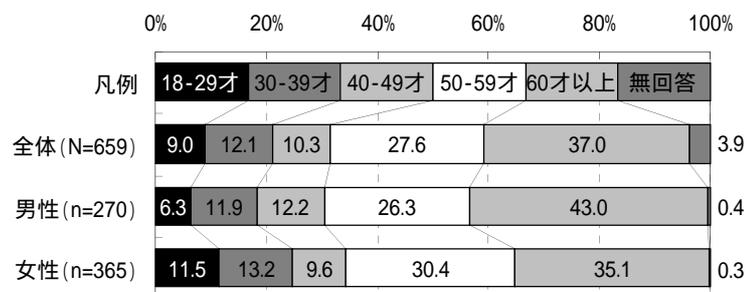
旅行目的が『観光』及び『ビジネス兼観光』の人の男女の内訳をみると、男女比は約6:4、女性の割合がやや高くなっている。

年齢の内訳をみると60代が最も多く37.0%、次いで50代の27.6%であった。50代以上の熟年・高齢層が約65%を占めていることになる。

男女差を見ると、女性よりも男性の方が60才以上の割合が約8%高く、50代、30才未満の割合がそれぞれ約4%、約5%低くなっている。



問 27 性別 (観光客, N = 659)



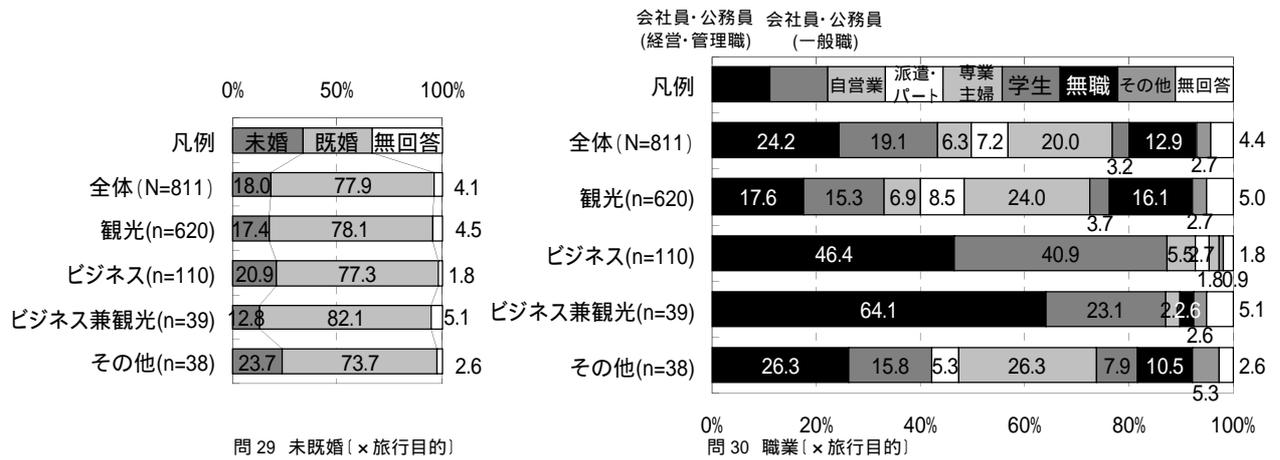
問 28 年齢 (観光客) (× 性別)

未既婚・職業

(全体)

既婚者の割合は 77.9%となっている。

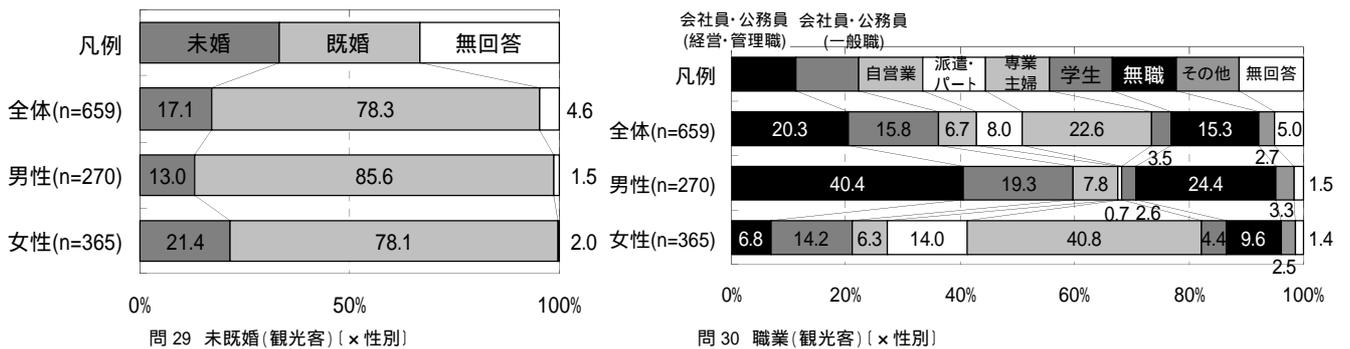
職業は、「会社員・公務員(経営・管理職)」が最も多く 24.2%、特にビジネス目的・ビジネス兼観光目的ではその割合が 46.4%、64.1%と、全体平均に比べ 20%以上高くなっている。



(観光客)

既婚者の割合は 78.3%、男性では女性に比べ既婚者の割合がやや高くなっている。

職業の内訳については、全体では「会社員・公務員」が 36.1%と最も多く、次いで「専業主婦」が 22.6%となっている。男性では「会社員・公務員」の割合が約 6 割、女性では「専業主婦」の割合が約 4 割と、高くなっている。

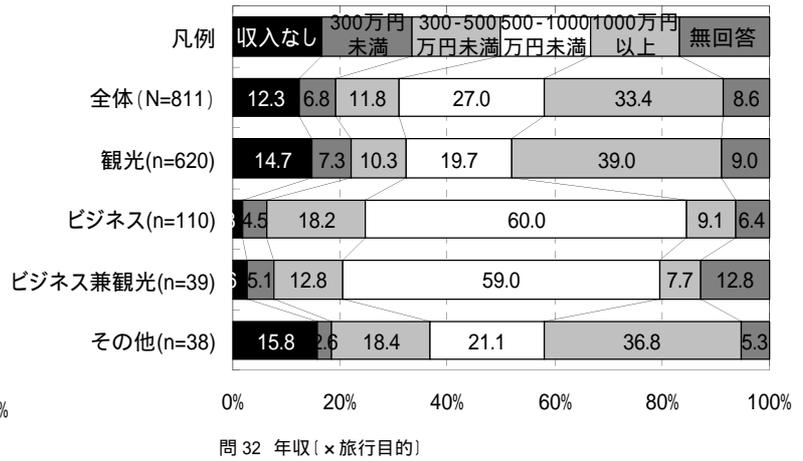
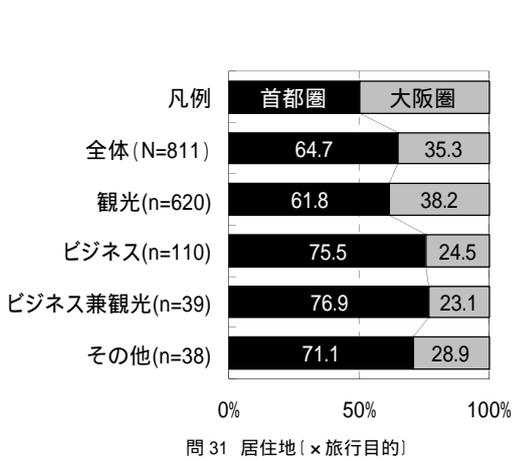


居住地、年収

(全体)

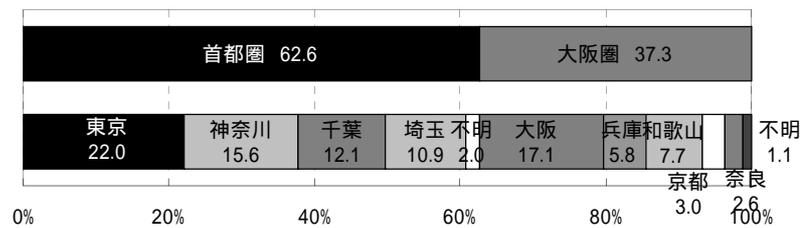
回答者の居住地は、首都圏と大阪圏の割合が約 7 : 3、旅行目的が「ビジネス」及び「ビジネス兼観光」では、首都圏が全体平均に比べ 10%以上高い割合となっている。

年収は「1000 万円以上」が最も多く 33.4%、「ビジネス」及び「ビジネス兼観光」で訪れた人では、「500 - 1000 万円未満」の割合が約 6 割を占めている。



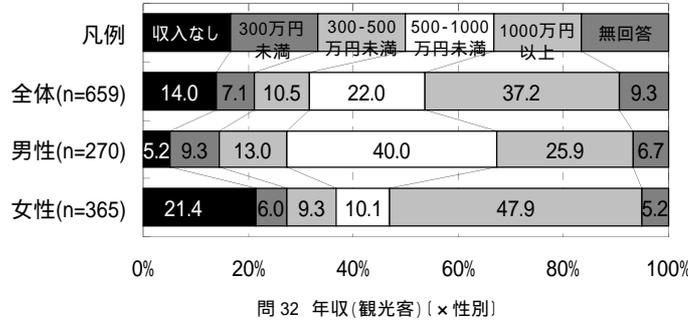
(観光客)

観光客の居住地は、首都圏が 62.6%、大阪圏が 37.3%となっている。最も多いのは「東京」で 22.0%、次いで「大阪(17.1%)」、「神奈川(15.6%)」、「千葉(12.1%)」、「埼玉(10.9%)」となっている。

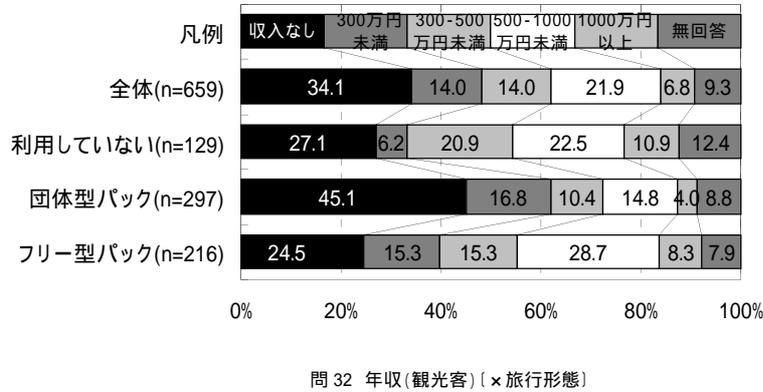


問 31 居住地(観光客、N=659)

年収をみると、「1000万円以上」の割合が最も高く 37.2%、次いで「500～1000万円（22.0%）」となっている。性別に見ると、女性では「収入無し」及び「1000万円以上」の割合が、男性に比べ 15%以上高かった。



また、旅行形態別にみると、団体型パック利用者では「収入なし」が 45.1%、「300万円未満」が 16.8%と他に比べ高くなっており、「300万円以上」の割合はいずれも全体平均を下回っている。一方、旅行会社を利用していない人とフリー型パック利用者では大きな差はみられず、「500～1000万円」と「収入なし」の層が、それぞれ 1/4 程度を占めている。



3) 旅行に関する意識

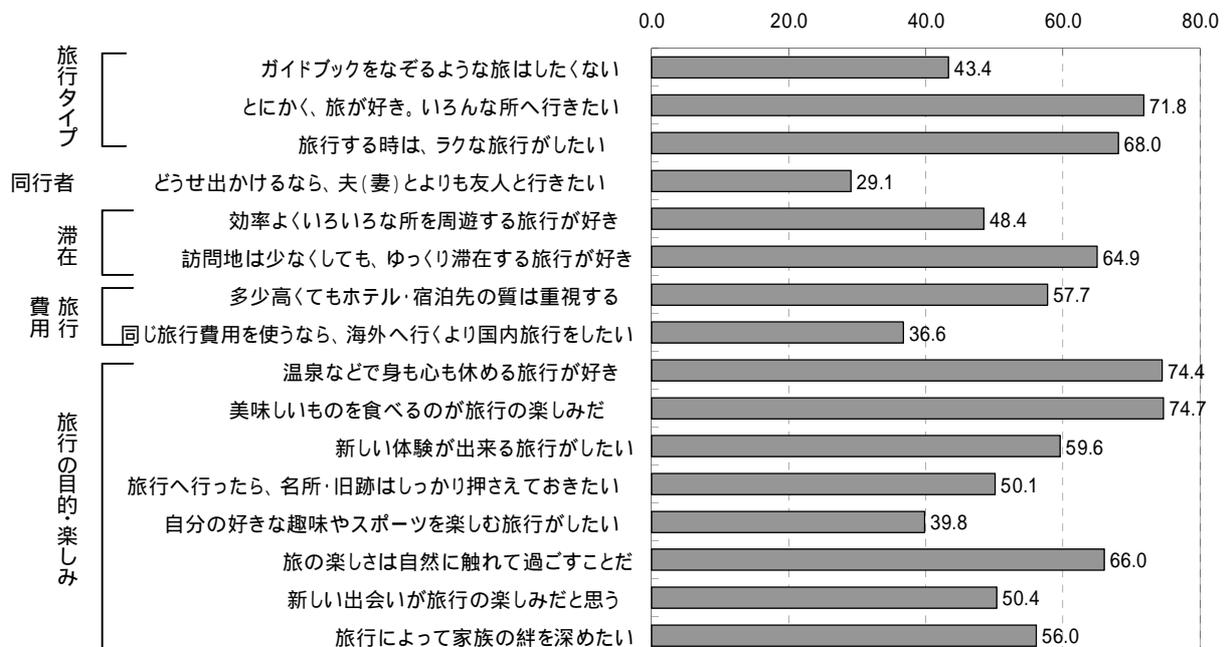
(観光客)

男性のほうが旅行目的・楽しみが多い

性別にみると、男性では「ガイドブックをなぞるような旅はしたくない」、「ラクな旅がしたい」「同じ旅行費用を使うなら、海外へ行くより国内旅行をしたい」の割合が、女性では「どうせ出かけるなら、夫(妻)とよりも友人と行きたい」人の割合が高く、男女間で5%以上の差がみられる。また、旅行の目的や楽しみに関する項目については、女性に比べ男性の回答率が高い項目が多く、特に「旅行によって家族の絆を深めたい」については、男女間で10%以上の差がみられた。

性・年代別にみると、男性では年代が若いほど「ガイドブックをなぞるような旅はしたくない」「同じ旅行費用を使うなら、海外へ行くより国内旅行をしたい」の割合が高くなる傾向がみられる。また、女性では、年代が低いほど「自分の好きな趣味やスポーツを楽しむ旅行がしたい」の割合が高くなる傾向がみられる。

「効率よくいろいろなところを周遊する旅行が好き」については、男女とも50才以上で回答率が低くなっており、滞在型の旅行を求める傾向がうかがえる。



問 26 旅行に対する意識(観光客)(N=659)

	調査数	旅行タイプ			同行者	滞在タイプ		旅行費用	旅行の目的・楽しみ								
		ガイドブックをなぞるような旅はしたくない	とにかく、旅が好き。いろんな所へ行きたい	旅行する時は、ラクな旅行がしたい		どうせ出かけるなら、夫(妻)とよりも友人と行きたい	効率よくいろいろな所を周遊する旅行が好き		訪問地は少なくしても、ゆっくり滞在する旅行が好き	多少高くてもホテル・宿泊先の質は重視する	同じ旅行費用を使うなら、海外へ行くより国内旅行をしたい	温泉などで身も心も休める旅行が好き	美味しいものを食べるのが旅行の楽しみだ	新しい体験が出来る旅行がしたい	旅行へ行ったら、名所・旧跡はしっかり押さえておきたい	自分の好きな趣味やスポーツを楽しむ旅行がしたい	旅の楽しさは自然に触れて過ごすことだ
全体	659	43.4	71.8	68.0	29.1	48.4	64.9	57.7	36.6	74.4	74.7	59.6	50.1	39.8	66.0	50.4	56.0
男性平均	270	51.1	73.3	72.6	22.2	47.8	68.1	60.7	41.5	73.3	75.2	61.9	49.6	44.8	70.7	56.7	64.4
男性 18～29才	17	70.6	76.5	70.6	47.1	58.8	82.4	52.9	70.6	82.4	94.1	76.5	47.1	82.4	58.8	76.5	64.7
30～39才	32	56.3	84.4	81.3	25.0	71.9	68.8	59.4	46.9	87.5	84.4	75.0	56.3	56.3	75.0	62.5	71.9
40～49才	33	63.6	97.0	87.9	24.2	60.6	84.8	66.7	42.4	93.9	90.9	72.7	51.5	75.8	93.9	63.6	75.8
50～59才	71	47.9	64.8	74.6	14.1	40.8	66.2	59.2	35.2	64.8	66.2	52.1	43.7	39.4	57.7	50.7	62.0
60才以上	116	45.7	69.0	65.5	22.4	40.5	62.9	62.1	39.7	68.1	71.6	59.5	51.7	31.0	73.3	54.3	61.2
女性平均	365	38.9	72.6	66.0	35.1	50.4	64.4	57.0	33.7	77.3	76.7	60.0	51.5	36.7	64.4	47.1	51.0
女性 18～29才	42	33.3	73.8	47.6	28.6	76.2	47.6	45.2	28.6	76.2	83.3	76.2	61.9	66.7	66.7	52.4	69.0
30～39才	48	39.6	85.4	77.1	27.1	54.2	70.8	54.2	25.0	87.5	91.7	64.6	45.8	52.1	56.3	54.2	66.7
40～49才	35	37.1	62.9	71.4	37.1	62.9	57.1	65.7	22.9	82.9	80.0	65.7	42.9	37.1	54.3	42.9	40.0
50～59才	111	47.7	73.0	73.0	44.1	43.2	70.3	61.3	37.8	79.3	76.6	53.2	57.7	35.1	67.6	51.4	46.8
60才以上	128	33.6	69.5	60.9	31.3	43.0	64.8	55.5	37.5	70.3	68.0	57.8	46.9	22.7	67.2	40.6	46.1

問 26 旅行に対する意識(観光客)(×性・年代別)